minato 2024.010 No. 78

新潟臨港病院・新潟万代病院 地域医療福祉連携機関向け広報誌『みなと』



Series

地域包括ケアシステム インタビュー特集



地域医療を 共に作る!

内科医(がん治療認定医を含む)、外科医、看護師、理学療法

士、作業療法士などで構成される。加藤看護師は緩和ケア認定

看護師の資格を持つ。専門スタッフがそれぞれの知識と技術を

持ち寄り、入院から退院、在宅まで患者さんを一貫してサポー

する。

入院から退院、在宅医療まで一貫した支援により患者 から活動する「呼吸リハビリチーム」の代表メンバー4名が、 活動の目的や患者さんへの想いを語ります。

――がんリハビリチームの目的や特徴を教えてください。

窪田 当院のがん診療は、手術や薬物療法などの「診療」、 その後の機能回復・維持に向けた「リハビリ」、症状をやわら げる「緩和ケア」の3本柱で取り組んでいます。一般的に、整 形外科で行うようなリハビリが身体機能の維持向上や日常 動作の支援がメインとなる一方で、がんリハビリの患者さん には、がんによる内臓の痛み、だるさ、呼吸苦といったがんに よる特有の症状や治療の副作用や合併症によって引き起こ される症状をともなうことが特徴です。人生の最期を迎える 大切な時期のリハビリもよく経験するため、精神的なサポー トがとても重要になります。

加藤 メンバーは、内科医、外科医、緩和ケア認定看護師、 各職種をつなぐ病棟リンクナース、理学療法士、作業療法

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛

生士など10職種で構成される。中村·丸谷理学療法士は呼吸

療法認定士の資格を有し、中村理学療法士は他にも呼吸器認

定理学療法士、呼吸ケア指導士の資格を有している。慢性閉塞

性肺疾患(COPD)やぜんそくの患者さんを対象に、入院中だけ

でなく退院後も外来や訪問リハビリを継続、支援している。

さんの状態回復や機能維持、QOL (Quality of life: 生活 の質)の向上を目指す新潟臨港病院のリハビリチーム。 2014年頃から活動する「がんリハビリチーム」と2008年頃 士、ソーシャルワーカー、医療相談員など総勢約20名で構 成され、2週間に1回ケースカンファレンスをしています。

----呼吸リハビリチームはいかがですか?

中村 呼吸リハビリチームは、医師を中心に様々な専門職 種が関わり、人工呼吸器での治療、薬や栄養、口腔ケア、運 動といった多角的なアプローチを行い、患者さんの呼吸状態 の改善を図っています。私は理学療法士として、呼吸法や排 痰の指導、日常生活や歩行などを担当しています。

丸谷 私は在宅医療の訪問リハビリに携わっています。 訪 問リハビリを利用する方のご自宅まで伺い、病院と同様な呼 吸リハビリを行います。訪問リハビリスタッフは全員が呼吸療 法認定士の資格を有しており、呼吸器疾患を持つ利用者の 割合が高いのが特徴です。

中村 退院後、病院まで通う事が困難な患者さんに対して は、訪問リハビリへ橋渡しをしています。病院併設の訪問看 それは他のチームスタッフから患者さんの想いを聞いた時。 患者さんによっては「看護師って忙しそう」と遠慮して不安や 悩みを言いづらい方もいるようで、そんな時にリハビリスタッフ などが患者さんからポロッと出た本音を聞いて、それをチーム で共有することで私たちも「そんなふうに思っていらしたんだ」 と気づくことができます。

----チームをよりよくしていくために、解決していきたい課題 や今後のビジョンはありますか?また、「minato」読者への メッセージをお願いします。

丸谷 医療現場の働き方改革が叫ばれる中で、いかにサー ビスの質を落とすことなく効率を上げるか。限られた時間の 中でどうやってスタッフのスキルアップやチームのレベルアップ を図るかが課題になっていくと思います。

中村 コロナ禍以前は患者さんのためのリハビリ教室を年4 回くらい開催していました。コロナ禍ではオンライン開催だっ



護ステーション (訪問リハビリ) があるので、情報共有しやす いのが当院の強みです。

窪田 COPDもがんも、筋力が衰え、身体機能が低下しやす いという点で共通する部分があります。患者さんの中には「体 力や筋力が落ちてもできるだけ自分でトイレに行きたい」とい う方も多くいらっしゃいます。リハビリチームは、ご本人の尊 厳を尊重し、本人が自分らしく生きることをサポートするチー ムです。運動やマッサージによって倦怠感がやわらぐことは医 学的にも明らかになっているので、エビデンスをもってリハビ リが介入するのは大事なことだと考えています。

――専門職種のスタッフが集まり、チームで対応するメリッ トはどんなことでしょうか?

窪田 やはりそれぞれの専門知識を持ち寄ることで、医師 一人では限界があった部分も幅広く対応できるようになった のは大きいと思います。

加藤 これまでだと患者さんのベッドサイドに行くのは医師 と看護師くらいだったと思うのですが、チーム医療ではリハビ リスタッフや栄養士や医療相談員などさまざまな専門家が患 者さんのもとを訪れます。「いろんなスタッフに支えられている んだ」と患者さんに心強く感じてもらえるのはすごくいいこと だと思います。看護師としてもメリットを感じることがあって、

たので、これから少しずつ復活させていきたいですね。呼吸 器疾患は自己管理が大切なので、大勢の患者さんにまずは 呼吸の病気について知っていただく機会を提供していきたい と思います。私たちリハビリスタッフは、専門知識の豊富なス タッフが直接指導しているので、安心して相談していただけた らと思います。

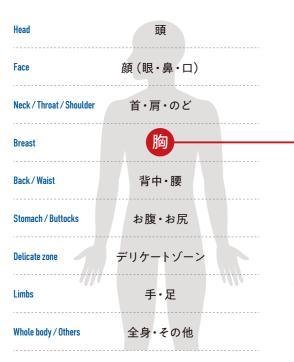
丸谷 呼吸リハビリチームのミッションは「笑顔」と「やすら ぎ」です。患者さんは、入院中も退院後も何らかの不安を抱 えていると思います。私たちは可能な限りそれを解消できる よう努力し、患者さんに笑顔とやすらぎを提供できるようにサ ポートしていきます。

窪田 在宅医療の話になりますが、がんの患者さんをご自宅 で看取るケースはまだまだ少数です。自宅での看取りはご家 族も勇気がいりますし、医療者にとっても往診などのエネル ギーが必要です。最期まで自宅で過ごしたいと望む患者さん のために、在宅医療のスキルを持つスタッフを増やして、もっ ともっと患者さんに寄り添えるがんリハビリを目指していけた らと思っています。

加藤 そうですね。新潟臨港病院は入院から在宅まで一貫 した医療ケアやリハビリを提供できます。ぜひ病院や私たち のチームを信頼していただき、何かあれば新潟臨港病院へ お越しください。



Jr 5 memo [F/Jg-XXE]



- 呼吸器の病気 すいみんじむこきゅうしょうこうぐん 睡眠時無呼吸症候群 (SAS) まんせいへいそくせいはいしっかん 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)



新潟臨港病院、新潟万代病院のホーム 新潟 ページには『症状から診療科を選ぶ』こと ができる専用ページがあります。各診療 科の特徴、外来診療予定表、医師紹介 新潟 が掲載されてますのでぜひご覧ください。 万代







睡眠時無呼吸症候群 (SAS, Sleep Apnea Syndrome) とは?

概 要

SASは寝ることで無呼吸となり、覚醒 により呼吸を再開することを繰り返す病 気です。一晩に繰り返される酸素低下と 睡眠の中断で心身ともに休まらないた め、日中の眠気や早朝頭痛、倦怠感、集 中力の低下などの症状がでてきます。ま た、動脈硬化や代謝異常などから高血 圧症や糖尿病、心疾患などを悪化させま す。さらに脳卒中や心筋梗塞の危険性が 高まるといわれています。また、このような 個人的な健康問題だけでなく、SASは交 通事故や産業事故の原因ともなり、社会 問題となることもあります。肥満や細面・ 小額などで気道が狭い方がなりやすいと されています。大きなイビキや無呼吸を指 摘されたり、十分に寝ても昼間の眠気で 困っていたら、SASかもしれません。

診断・治療

SASの確定診断は終夜睡眠ポリグラフ 検査 (PSG) で行われます。PSGは脳波や 眼電図、筋電図、心電図、呼吸センサーな ど多数の電極を装着し、一晩の睡眠状態 を調べる検査で一泊入院となります。呼吸 モニターのみの簡易検査もありますが、精 密検査であるPSGでは閉塞性か中枢性と いったSASの分類や他の睡眠障害の鑑別 ができます。治療は重症度に応じてCPAP 療法やマウスピース療法などとなります。 CPAP療法は鼻マスクからの空気圧で気 道を拡げる治療で、うまく装置を使用でき れば、治療当日から症状の改善が期待で きます。マウスピース療法は下顎を前に出 し、舌の位置を上げることで気道を拡げま す。当院では全国的にみても早い1999年 からSAS診療を開始し、これまでに約2,000 名超のCPAP療法を支えてきました。

睡眠センター

SAS以外でも強い眠気をきたす病気 (過眠症)があります(例:ナルコレプシー や特発性過眠症、概日リズム障害、睡眠 不足症候群、レストレスレッグス症候群 など)。あまり馴染みのない病名かもしれ ませんが、特にナルコレプシーは10代・20 代に発症することが多く、進学や就職に 影響し、将来に関わるので、当事者にとっ ては切実です。不眠症に比べ、過眠症を 診てくれる医療機関はあまりないという 現状もあります。当院では2023年5月に睡 眠センターを開設し、CPAP専用の指導 室やデータ解析室、遮光・遮音のできる 検査室などを整備しました。全国的にも 実施できる医療機関が少ない反復睡眠 潜時検査 (MSLT) ができるようになり、過 眠症診療に幅広く対応しています。 眠気 でお困りの方はご相談ください。

z —

COPDは主にタバコの影響で肺が障害 され、咳・痰・息切れがみられる進行性の 病気です。病状が進むと息切れのため、 家族と同じペースで歩けなくなり、やがて は食事をするのも苦しくなり、酸素吸入 が必要になったり、寝たきりになることも あります。ゆっくりと悪くなるので、気づき にくいのも特徴です。風邪症状から呼吸 苦が強くなり、救急搬送されて、初めて気 づかれるという方もいます。今はタバコを やめていても、年とともに症状が出てくる こともあります。「最近風邪をひきやすく、 咳や痰が増えてきた」、「坂道や階段での 息切れがひどくなった」ということがあっ たら、それは年のせいじゃなくて、COPDか もしれません。早期発見・早期治療が大 切ですので、もしやと思ったら、ご相談く ださい。

概 要

診断・治療

診断は呼吸機能検査や胸部レントゲ ン、胸部CTなどで行い、同じような症状を きたす他の疾患を鑑別しながら診断され ます。治療はまずは禁煙、重症度に応じ て薬物療法、呼吸リハビリ、栄養療法な どを組み合わせていきます。これらの治 療を組み合わせることで相乗効果が期 待できます。薬物療法の主体は内服では なく、気管支を拡げる働きのある吸入薬 になります。肺に直接薬剤を到達させる ことで効果が期待できるだけでなく、副 作用の軽減にもなります。当院では門前 調剤の薬剤師と定期的に連携をとりなが ら、吸入薬が適切に使用できるように取 り組んでいます。風邪などをきっかけに増 悪を起こすことがあり、繰り返すと生活に 支障をきたすことになるので、ワクチン接 種もお勧めされます。

呼吸リハビリ

COPDの方は発症早期から息切れの ため、気づかないうちに活動量が低下す るといわれています。活動量の低下でま すます筋力が低下し、息切れを起こす悪 循環に陥るようになります。悪循環を断 ち切るために呼吸リハビリが有効です。 呼吸リハビリでは安楽な呼吸法、特に動 作を伴う場合の効率的な呼吸法を練習 します。他にリラクゼーションやストレッ チ、排痰法、筋力・持久力トレーニングな ど、個々の病状に合わせてプログラムを 組みます。当院は呼吸療法認定士(合格 率70%弱)を取得しているリハビリスタッフ が多数在籍し、毎週多職種でカンファレ ンスを行い、リハビリの質の向上に努めて います。COPDなどの呼吸器疾患に呼吸 リハビリは有効ですので、息切れが気に なる方にはお勧めです。



新任医師のご紹介 New member! /



(年度10月より新潟臨港

今年度10月より新潟臨港病院消化 器外科の一員として勤務することに なりました。地域医療に貢献できる よう努力していきますのでよろしくお 願いいたします。



2024年10月より赴任しました整形外科の鄭賢皓(ていよしあき)と申します。

地域の皆様に寄り添った治療を心がけていこうと思いますのでよろしくお願いいたします。



新潟県内の病院で血液疾患の診療を20年以上にわたり行ってきました。専門にこだわらず、様々な内科疾患の診療を行っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

第2回 新潟臨港病院祭を開催します

[テーマ] あつまれ子どもたち~未来を共に創る~

[日時] 2024年**11**月**2**日(土)10:00~14:00

> [会場] 新潟臨港病院

病院のお仕事体験を中心に、はたらく車の展示や乗車体験、腎臓病 教室や健康測定エリアなど盛り沢山のイベントをご用意しています。 憧れの職業を学びながら体験してみませんか?

入場は無料です。どなたでもお気軽にお越しください!

詳細はウェブサイトから 🌂





病院のお仕事をウォッチング!/ 職場紹介シリーズ

vol.

🧎 新潟臨港病院 地域連携センター

当院の地域連携センターは、医療連携室と医療福祉相談室で構成されています。

患者様がスムーズに当院へ受診や入院、又は転院や退院できるよう「地域の病院・開業医・福祉施設を結ぶ窓口」であり、 安心して治療を受けていただき療養生活を送れるよう「患者相談窓口」の役割も担っています。

当センターは医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職員がおり、患者様に切れ目のない医療・看護・介護を提供できるよう支援及び調整を行っています。



〈主な取り組み〉

1. 地域の医療機関・福祉施設を結ぶ窓口となり、連携を促進します

地域の医療機関と連携して、患者様へ適切な継続医療の提供に繋げてまいります。

福祉施設と連携して退院後の生活が安心して送れるようお手伝いさせていただきます。

2. 医療福祉相談にお応えします

病気や治療に伴う生活の不安や心配事、制度活用についての相談に 対応します。

3. 地域の一拠点施設として、コミュニティワーク (地域活動) を 行ってまいります

「市民公開講座」や小・中・高校生に向けた医療・介護の職業の講話や体験の開催など、地域の方々との交流活動を行っています。 ぜひご参加ください。

🔍 新潟万代病院 地域連携室

当院は、「地域に心かよわすより良い医療」を経営 方針に掲げて日々の診療を行っています。地域連携 室は皆様に安心、良質な医療を提供するため、地域 の医療機関と連携し、それぞれの患者様の状況に応 じて、検査・外来受診・入院・転院などの調整・予約 業務を行います。

地域の医療機関と連携を図ることによる患者様の メリットは、診療情報の提供により検査の重複がな く、心身や医療費の負担が軽減できることや事前予 約をすることで、外来の待ち時間が短縮されたりする ことが挙げられます。

また、病気やけがをすると、様々な不安や心配ごとがおこってきます。そんな時は専門のスタッフ(看護師・社会福祉士等)がお話をお聞きして、一緒に解決の為の方法を考え支援いたします。相談をご希望の際は、「階地域連携室もしくはお近くの院内スタッフへお声がけください。



6

登録医の

地域を支える 医療・福祉施設を ご紹介します



医療連携室 _{看護師} 山口 桂子



^{事務部長} 野村 典央



山の下クリニック

内科•胃腸科

院長 阿部 行宏



当院は「地域の何でも相談所」を目指しております。まず は相談していただき、対応できなければ新潟臨港病院をは じめ近隣の病院・診療所へお繋ぎすることで皆様の安心安 全の一助になればと考えています。東区を中心に訪問診療 も行っており、在宅医療にも力を入れています。

また、高齢化社会が進み「最後まで家で生活したい」と お考えの方も増えており、その生活を支えるため、医療介 護が信頼関係を構築し連携を取りながらサポートする仕組 み「山の下地域包括ケアネット」を開催して、どんなときも 安心して生活できる、よりよい地域の実現を目指しています。

病気の予防から健康管理を含め、皆様と共に悩み、皆様 にご指導いただきながら共に成長し続ける医院でありたい と思います。



T950-0066 新潟市東区長者町5-5 TEL: 025-273-3535 診療時間…9:00~12:00 水曜午後・金曜午後

新潟臨港病院インスタグラム







院長 森本 悠太

04



令和6年10月15日に開院した東幸クリニック内科・外科 です。当院は内科・外科の診療は当然のこととして、患者 さんおよびご家族の状況を含めた包括的な状況把握、そ れに応じた対応も大切にしております。

患者さんと向き合い、疾患のみを診るのではなく、良き 隣人としてその助けになれるように、その思いをしっかり 聞き、その人がより良く生きられるように、かかりつけ医と して本当に必要な医療を提供できる診療所にしていきた いと考えています。

地域の皆様の健康な生活を応援するため、慢性疾患や 生活習慣病などの予防にも力を注いでいきたいと思って いますので、無症状でも安心して気軽に受診いただけれ ば幸いです。



新潟市中央区東幸町4-10 TEL:025-256-8770

診療時間…9:00~12:30

日曜・祝日・第4土曜

新潟万代病院エックス







株式会社ダイチク

所在地 : 〒950-1151 新潟市中央区湖南24-2

電話番号:025-288-0228(代表)

オフィシャルウェブサイト www.ainj.co.jp

TEIJIN 帝人ファーマ株式会社

